

個別研修（川邊真歩） **研修テーマ：乗馬療育における作業療法士の役割**

アメリカ カリフォルニア州 サン・ファンカピストラーノ

J.F. Shea Therapeutic Riding Center （乗馬療育センター）

J.F Shea Therapeutic Riding Center は障がいのある人へ馬を介在した活動を提供している非営利活動団体。騎乗者の楽しみの獲得や乗馬技術の向上、身体・精神・社会機能の向上を目的とした馬を介在した活動（セラピューティックライディング）の他、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が馬を介在してリハビリテーションを提供する乗馬療法（ヒポセラピー）を実施。年間 1000 人以上の利用者がおり、多くのボランティアが関わっている。



施設外観



施設内のセラピールーム



ヒポセラピー（作業療法）の様子
様々な道具やおもちゃを使用。子ども達も
ゲーム感覚で楽しみながら行う。



作業療法の様子
ヒポセラピーの他にもセラピストによるクリニックを実施。
道具を使用し、感覚に対して刺激を与える。



ヒポセラピー（理学療法）の様子
馬上で様々な姿勢を取り、目的とする筋肉
に刺激を与える。



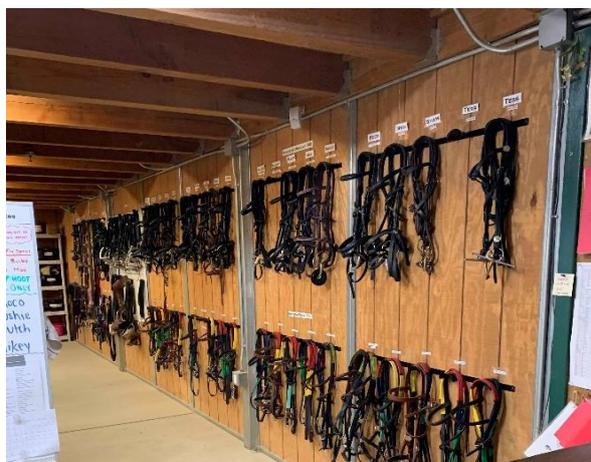
セラピューティックライディングの様子
資格を持ったインストラクターが提供。この時は
手綱操作の練習を行っている。



屋根付きの大きな馬場を設備



ボランティアに向けた講習の様子
ボランティアの研修を定期的実施。コーディネー
ターが在中し、多くのボランティアの配置や情報を
管理している。



馬具を収納する部屋の様子
20 頭以上の馬の道具を収納。ボランティアにも
分かりやすいように 1 頭ずつ名前を記入。



スタッフ向けの実技研修



セラピードッグのエマーソン君
手足が不自由な方でもエマーソン君と遊べるおもちゃが置いてある。



お世話になった作業療法士のカレンさん（左）
とインストラクターのケーシーさん（右）と
エマーソン君（下）と一緒に。



作業療法用のセラピールーム